



合格祈願米で受験生を激励

中学生に合格祈願米を贈呈

J A 会津よつばから町内 3 中学校の 3 年生への「合格祈願米」贈呈式は 12 月 5 日、町役場で行われました。贈呈式では、J A 会津よつばの五十嵐孝夫代表理事専務が「皆さんに贈る米は、会津若松市立第六中学校の生徒が手植えし、収穫後に会津美里町の清龍寺文殊院でご祈祷を受けたコシヒカリです。おいしい米を食べて、志望校合格目指して頑張ってください」と生徒を激励し、各中学校代表の秦優莉さん(猪苗代中)、渡部勇樹さん(吾妻中)、柳沼あさひさん(東中)にそれぞれ合格祈願米を手渡しました。また、前後公町長と宇南山忠明教育長が「体調管理に気を付けて、合格祈願米のように粘り強く、志望校合格を目指して頑張ってください」と生徒を励ました。

生徒を代表して吾妻中の渡部勇樹さんが「合格祈願米を食べて、インフルエンザや風邪などにかからないように受験に備えたいと思います。これまでの中学校 3 年間の努力が実るように、残りの約 3 ヶ月も頑張ります」と決意の言葉を述べました。

写真上_贈呈式に出席した、前列左から秦さん(猪苗代)、柳沼さん(東中)、渡部さん(吾妻中)、五十嵐代表理事専務、前後町長、宇南山教育長
写真右_五十嵐代表理事専務から合格祈願米を受ける秦さん



100 万人達成を祝いくす玉を割る関係者ら

節目を祝いセレモニー

道の駅猪苗代来場者が 100 万人に

道の駅猪苗代では 11 月 30 日、平成 28 年 11 月 19 日のオープンから約 1 年で来場者が 100 万人に達しました。

同道の駅で行われた記念セレモニーでは、関係者らがくす玉を割り、100 万人達成の節目を祝いました。

100 万人目となった白河市の三浦善文さんと妻のミヤ子さんに道の駅猪苗代副社長の大川原久夫副町長からブランド米いなわしろ天のつぶ 1 俵などの記念品を贈られました。三浦さんは「思いがけず 100 万人目となり、幸運でした。いなわしろ天のつぶを食べるのが楽しみです」と話しました。

道の駅猪苗代は、会津観光の玄関口となる県内 29 番目の道の駅として開所して以来、県内外から地元産の野菜や加工品などの商品を買求める人たちが大勢訪れています。また、道の駅猪苗代の敷地内で進められていたヘリポートの整備工事が 10 月に完了。11 月 18 日に行われた猪苗代町総合防災訓練では、県消防防災ヘリによる救助訓練の発着場所としても利用されました。今後は、火山や豪雪などの災害に対応した防災拠点としての役割も期待されます。



大川原副町長から記念品を受ける三浦さんご夫妻



左から前後町長、渡部さん、妻の昭子さん、戸田振興局長

渡部一さんに栄典伝達

旭日単光章叙位・叙勲伝達式

元町議会議員の渡部一さん(沼尻駅前)への叙位・叙勲伝達式は 12 月 4 日、町役場で行われ、戸田光昭県会津地方振興局長が渡部さんに旭日単光章の勲記と勲章を手渡しました。渡部さんは、昭和 47 年から 3 期 12 年にわたり町議会議員を務め、地方自治の進展に尽力されました。式では、前後公町長が「今後も町政発展のためご協力をお願いします」とあいさつ。渡部さんは「荣誉に恥じぬよう、より一層精進します」と話しました。



前後町長に受章を報告する鶴浦さん(右)

更生保護への功績をたたえる

保護司の鶴浦正俊さんに藍綬褒章

秋の褒章で藍綬褒章を受章した鶴浦正俊さん(都沢)は 12 月 8 日、町役場を訪れ、前後公町長に受章を報告しました。

鶴浦さんは天台宗僧侶の傍ら、平成元年から約 30 年にわたり保護司を務め、若者の非行防止や更生などに尽力されています。鶴浦さんは「若い時に比叡山で学んだことを忘れずに更生保護に努めてきました。今後も地域の犯罪防止活動に力を尽くしていきたいです」と話しました。

猪苗代吹奏楽団 50 周年を記念し

2017 いなわしろ音楽祭

猪苗代吹奏楽団創立 50 周年記念 2017 いなわしろ音楽祭は 12 月 9 日、学びいなかで開かれました。音楽祭には猪苗代吹奏楽団のほか、福島県ばんだい荘あおば和太鼓の会や猪苗代高校吹奏楽部などが参加し、見事な演奏を披露しました。猪苗代中学校 3 年 3 組の生徒は「Together」、「心の瞳」の 2 曲を合唱。また、千里小 1 年生児童が白虎隊の剣舞を披露するなど、盛りだくさんの発表が行われました。



見事な演奏を披露する猪苗代吹奏楽団メンバーら

最新のワクシング技術を学ぶ

クロスカントリースキーワクシング講習会

県スキー連盟主催によるクロスカントリースキーワクシング講習会は 11 月 28 日、学びいなかで開かれ、町内の小中学生や保護者、スポーツ少年団の指導者など約 60 人が参加しました。

講習会では、講師の佐藤純一ガリウム営業統括部長が雪のかたさに合わせたワックスの選び方などを紹介したほか、実際にスキー板を使用してワックスの塗り方や注意点を指導しました。参加者は、最新のワクシング技術について理解を深めました。



最新のワクシング技術を指導する佐藤部長(左)